



FTP を使用したシステム イメージの管理

このモジュールには、FTP を使用したシステム イメージの管理に関する情報が含まれています。

- [フラッシュ メモリから FTP サーバーへのイメージのコピー \(1 ページ\)](#)
- [FTP サーバーからフラッシュ メモリ ファイル システムへのイメージのコピー \(2 ページ\)](#)
- [フラッシュ メモリから FTP サーバーにイメージをコピー \(3 ページ\)](#)
- [FTP サーバーからフラッシュ メモリへのコピー \(5 ページ\)](#)

フラッシュ メモリから FTP サーバーへのイメージのコピー

FTP プロトコルでは、FTP 要求ごとにリモートユーザー名およびパスワードを、クライアントがサーバーに送信する必要があります。FTP を使用して、ルータからサーバーにコンフィギュレーション ファイルをコピーする場合、Cisco IOS ソフトウェアは、次のうち、最初に発見した有効なユーザー名を送信します。

1. **copy** 特権 EXEC コマンドで指定されたユーザー名 (ユーザー名が指定されている場合)。
2. **ipftpusername** グローバル コンフィギュレーション コマンドで設定されたユーザー名 (コマンドが設定されている場合)。
3. Anonymous

ルータは次のうち、最初に発見した有効なパスワードを送信します。

1. **copy** 特権 EXEC コマンドで指定されたパスワード (パスワードが指定されている場合)
2. **ipftppassword** グローバル コンフィギュレーション コマンドで設定されたパスワード (コマンドが設定されている場合)。

ルータは、`username@routername.domain` というパスワードを生成します。変数 `username` は現在のセッションに関連付けられたユーザー名、`routername` は設定済みのホスト名、`domain` はルータのドメインです。

ユーザー名およびパスワードは、FTPサーバーのアカウントに関連付けられている必要があります。サーバに書き込む場合、ルータ上のユーザからの FTP 書き込み要求を受け入れるように、FTP サーバを適切に設定する必要があります。

このサーバーがディレクトリ構造をとっている場合、コンフィギュレーションファイルまたはイメージは、サーバー上のユーザー名と関連付けられたディレクトリに書き込まれるか、そのディレクトリからコピーされます。たとえば、システム イメージがサーバー上のユーザーのホーム ディレクトリにある場合は、そのユーザーの名前をリモート ユーザー名として指定します。

詳細については、ご使用の FTP サーバーのマニュアルを参照してください。

すべてのコピー操作に使用するユーザー名およびパスワードを指定するには、**ipftpusername** および **ipftppassword** コマンドを使用します。特定のコピー操作にのみ使用するユーザー名を指定する場合は、**copy** コマンド内でユーザー名を指定します。

FTP サーバーからフラッシュ メモリ ファイル システムへのイメージのコピー

FTP サーバーからフラッシュ メモリ ファイル システムへシステム イメージをコピーできます。

FTP ユーザー名とパスワード

FTP プロトコルでは、FTP 要求ごとにリモートユーザー名およびパスワードを、クライアントがサーバーに送信する必要があります。FTP を使用して、ルータからサーバーにコンフィギュレーション ファイルをコピーする場合、Cisco IOS ソフトウェアは、次のうち、最初に発見した有効なユーザー名を送信します。

1. **copy** 特権 EXEC コマンドで指定されたユーザー名（ユーザー名が指定されている場合）。
2. **ipftpusername** グローバル コンフィギュレーション コマンドで設定されたユーザ名（コマンドが設定されている場合）。
3. Anonymous

ルータは次のうち、最初に発見した有効なパスワードを送信します。

1. **copy** 特権 EXEC コマンドで指定されたパスワード（パスワードが指定されている場合）
2. **ip ftp password** コマンドで設定されたパスワード（コマンドが設定されている場合）。

ルータは、**username @routename .domain** というパスワードを生成します。変数 **username** は現在のセッションに関連付けられたユーザ名、**routename** は設定済みのホスト名、**domain** はルータのドメインです。

ユーザー名およびパスワードは、FTPサーバーのアカウントに関連付けられている必要があります。サーバに書き込む場合、ルータ上のユーザからの FTP 書き込み要求を受け入れるように、FTP サーバを適切に設定する必要があります。

このサーバーがディレクトリ構造をとっている場合、コンフィギュレーションファイルまたはイメージは、サーバー上のユーザー名と関連付けられたディレクトリに書き込まれるか、そのディレクトリからコピーされます。たとえば、システム イメージがサーバー上のユーザーのホーム ディレクトリにある場合は、そのユーザーの名前をリモート ユーザー名として指定します。

詳細については、ご使用の FTP サーバーのマニュアルを参照してください。

すべてのコピー操作に使用するユーザー名およびパスワードを指定するには、**ip ftp username** および **ip ftp password** コマンドを使用します。特定のコピー操作にのみ使用するユーザー名を指定する場合は、**copy** コマンド内でユーザー名を指定します。

フラッシュメモリから FTP サーバーにイメージをコピー

FTP ネットワーク サーバー上のシステム イメージをコピーするには、以下の手順を実行します。

ステップ 1 **enable**

例：

```
Router> enable
```

特権 EXEC モードを有効にします。

- パスワードを入力します（要求された場合）。

ステップ 2 **configure terminal**

例：

```
Router# configure terminal
```

（任意）グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。この手順は、デフォルトのリモート ユーザー名またはパスワードを上書きする場合にだけ必要です（ステップ 2 および 3 を参照）。

ステップ 3 **ip ftp username *username***

例：

```
Router(config)# ip ftp username user1
```

（任意）デフォルトのリモート ユーザー名を変更します。

ステップ 4 **ip ftp password *password***

例：

```
Router(config)# ip ftp password guessme
```

(任意) デフォルトのパスワードを変更します。

ステップ 5 end

例 :

```
Router(config)# end
```

(任意) グローバル コンフィギュレーション モードを終了します。この手順は、デフォルトのリモート ユーザー名またはパスワードを上書きする場合にだけ必要です (ステップ 2 および 3 を参照)。

ステップ 6 show flash-filesystem :

例 :

```
Router# show flash:
```

(任意) 指定されたフラッシュ ディレクトリのシステム イメージ ファイルを表示します。フラッシュ メモリ内のシステム イメージ ファイル名を知らない場合は、このファイル名の正確なスペルをメモしておきます。

ステップ 7 copy flash-filesystem : filename ftp: [[[//username [:password]@]location]/directory]/filename]

例 :

```
Router# copy slot0:1:your-ios ftp://myuser:mypass@172.23.1.129/dirt/sysadmin/your-ios
```

このイメージを FTP サーバーにコピーします。

(注) **copy** 特権 EXEC コマンドを発行した後、追加情報またはアクションの確認を求めるプロンプトが表示される場合があります。表示されるプロンプトは、**copy** コマンドで入力した情報量および **fileprompt** グローバル コンフィギュレーション コマンドの現在の設定によって異なります。

例

この例では、**showslot1:privilegedEXEC** コマンドを使用して 2 番目の PCMCIA スロットにあるシステム イメージ ファイルの名前を表示し、ファイル (test) を FTP サーバーにコピーします。

```
Router# show slot1:
-#- ED --type-- --crc--- -seek-- nlen -length- -----date/time----- name
1 .. 1          46A11866 2036C   4    746      May 16 1995 16:24:37 test
Router# copy slot1:test ftp://thisuser:thatpass@172.16.13.110/test
writing test!!!!...
successful ftp write.
```

この例では、**your-ios** という名前のファイルを、スロット 0 にあるフラッシュ メモリ PC カードのパーティション 1 から、172.23.1.129 にある TFTP サーバーにコピーします。このファイ

ルは、リモート ユーザー名を持つディレクトリに対する `dir/sysadmin` ディレクトリに `your-ios` という名前で保存されます。

```
Router# show slot0: partition 1
PCMCIA Slot0 flash directory, partition 1:
File Length Name/status
  1 1711088 your-ios
[1711152 bytes used, 2483152 available, 4194304 total]
Router# copy slot0:1:your-ios ftp://myuser:mypass@172.23.1.129/dir/sysadmin/your-ios
Verifying checksum for 'your-ios' (file # 1)... OK
Copy 'your-ios' from Flash to server
  as 'dir/sysadmin/ios-2'? [yes/no] yes
!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!
Upload to server done
Flash device copy took 00:00:23 [hh:mm:ss]
```

FTP サーバーからフラッシュ メモリへのコピー

FTP サーバーからフラッシュ メモリ ファイル システムへシステム イメージをコピーするには、以下の手順を実行します。

ステップ 1 enable

例 :

```
Router> enable
```

特権 EXEC モードを有効にします。

- パスワードを入力します (要求された場合)。

ステップ 2 show flash-filesystem :

例 :

```
Router# show flash:
```

(任意) フラッシュ メモリ内のシステム イメージ ファイル名を表示します。このコマンドを使用して、この次のコマンドで使用するために、ファイルの URL パスとシステム イメージ ファイル名の正確なスペルを確認します。

ステップ 3 copy flash-url tftp :[[[//location]/directory]/filename]

例 :

```
Router# copy slot0:1:your-ios tftp://172.23.1.129/dir/sysadmin/your-ios
```

フラッシュ メモリから TFTP サーバーにシステム イメージをコピーします。ファイルの場所とファイル名を `flash-url` 引数として指定します。

(注) **copy** 特権 EXEC コマンドを発行した後、追加情報またはアクションの確認を求めるプロンプトが表示される場合があります。表示されるプロンプトは、**copy** コマンドで入力した情報量および **fileprompt** グローバルコンフィギュレーションコマンドの現在の設定によって異なります。

ステップ 4 **configure terminal**

例：

```
Router# configure terminal
```

(任意) 端末からグローバルコンフィギュレーションモードを開始します。この手順は、デフォルトのリモートユーザー名またはパスワードを上書きする場合にだけ必要です (ステップ 3 および 4 を参照)。

ステップ 5 **ip ftp username *username***

例：

```
Router(config)# ip ftp username netuser1
```

(任意) デフォルトのリモートユーザー名を変更します。

ステップ 6 **ip ftp password *password***

例：

```
Router(config)# ip ftp password guessme
```

(任意) デフォルトのパスワードを変更します。

ステップ 7 **end**

例：

```
Router(config)# end
```

(任意) グローバルコンフィギュレーションモードを終了します。この手順は、デフォルトのリモートユーザー名またはパスワードを上書きする場合にだけ必要です (ステップ 3 および 4 を参照)。

ステップ 8 **copy ftp: [[[/[*username* [:*password*]@]*location*] /*directory*]/*filename*]/*flash-filesystem*:*filename*]**

例：

```
Router# copy ftp://myuser:mypass@theserver/tftpbboot/sub3/c7200-js-mz slot1:c7200-js-mz
```

コンフィギュレーションファイルをネットワークサーバーから稼働中のメモリ、または **rcp** を使用してスタートアップコンフィギュレーションにコピーします。

(注) **copy** 特権 EXEC コマンドを発行した後、追加情報またはアクションの確認を求めるプロンプトが表示される場合があります。表示されるプロンプトは、**copy** コマンドで入力した情報量および **fileprompt** グローバルコンフィギュレーションコマンドの現在の設定によって異なります。

例

次に、**reload** コマンドを使用して、ルータでソフトウェアを現在の日の午後7時30分にリロードする例を示します。

```
Router# reload at 19:30
Reload scheduled for 19:30:00 UTC Wed Jun 5 1996 (in 2 hours and 25 minutes)
Proceed with reload? [confirm]
```

次に、**reload** コマンドを使用して、ルータでソフトウェアを将来リロードする例を示します。

```
Router# reload at 02:00 jun 20
Reload scheduled for 02:00:00 UTC Thu Jun 20 1996 (in 344 hours and 53 minutes)
Proceed with reload? [confirm]
```


翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。